



大分県議会議員 自由民主党 宮成 公一郎 (竹田市選挙区)

9月4日から24日まで第3回定例県議会（9月議会）では、一般会計補正予算（101億2801万5千円増額）、今後10年間の県政運営の指針となる新長期総合計画、行財政改革計画、環境基本計画、農林水産業振興計画など32議案を可決しました。

また、本議会では副議長の就任のほか7月に就任した桑田龍太郎副知事の初登壇も行われるなど新たな雰囲気の中、自身3度目となる一般質問の機会をいただいたほか、初となる議事録署名委員としての役も担わせていただきました。10月2日からの1か月間は決算特別委員会での審議となります。



ブログ更新中

活動報告

■経済活性化対策特別委員会

食と観光、農林水産業のさらなる振興と人材の確保、育成について、これまで8回にわたり議論・協議を重ねながら県内の取組みを調査・研究してきましたが、8月5日からの3日間は新潟県と長野県で県外所管事務調査を行いました。

新潟県庁では「観光立県推進行動計画」の概要と具体的な取組状況を聴取し、十日町市での農泊事業の取組を調査しました。また、長野県では野沢温泉DMOによるガストロノミーツーリズムの取組について視察を行いました。

地方では決して劣っていない大分県、この調査の成果が求められています。



一般質問の録画映像は
コチラから
(大分県議会 HP にリンク)



■農林調査会

大分県議会自由民主党会派には8つの調査会があり、農林水産業振興調査会の副会長として7月3日から3日間、栃木県と福島県での調査に参加しました。

知的障がい者によるブドウ栽培と高品質なワイン製造、小学校での「農業」の取組み等、地域との関わりを含めて現地足を運ばなければならぬことを吸収できた調査となりました。

なお、栃木県庁では、半世紀以上にわたって生産量・単収・産出額で日本一の「いちご王国、栃木」の取組み



ココ・ファームのワインは、急峻な畑で働く陽がけ者が仕事に誇りを持って、ブドウ栽培から上質なワインのブランド化まで一貫した取組み。



子牛価格の低迷が続く一方で飼料価格は高止まり。国内の農業研究の総本山「農研機構」で畜産飼料研究の状況を調査。



そごう天母店と忠孝店では、日田市、佐伯市、中津市も参加する中、佐藤知事とともに大分県産の酒類、農産品、水産品をPR



頑張ってPR活動をしていたら青果売場の店員さんと仲良くなりました

■日台友好議員連盟

大分県議会日台友好議員連盟の一員として、大分県台湾プロモーション等のため8月25日からの3日間、台湾へ赴き、佐藤県知事や経済界の皆さんとともに、インバウンド強化・県産品のPRを行いました。

また、日本台湾交流協会、台湾日本関係協会、中台高級学校、教育部等と意見交換する中で、農産品の輸出入、台湾側のサイエンスパーク構想、児童生徒の語学・スポーツ交流など、産業、観光、教育の分野での具体的な地域間連携の可能性を探りました。



野沢温泉ガストロノミーツーリズムは、村内外のシェフと地元旅館の手による「循環のガストロノミー」をテーマに高価格帯のツアーを造成。



新潟県十日町市にある HOME HOME nigata 地域おこし協力隊から農家民宿事業を起業。少くない資金を投入し古民家を再生し、新たな観光資源を生み出している。

を調査し、農研機構畜産研究部門では飼料用作物の研究内容を調査しました。

■決算審査特別委員会

大分県議会では、一般会計と12の特別会計に加えて、公営企業会計（病院、電気、工業用水道）の決算について21名で構成する特別委員会（大友委員長・中津市）を設置して審議しています。

次表の見込額のとおり大きな金額であり範囲も広いため、審議は1か月間及び体力を消耗します。しかし、今後の予算編成のためには重要な審議であるため、事前の勉強を怠らずに部局別審査に臨み、連日質疑を行いました。



■ 正月の地震に続き台風被害を受けた能登半島、お盆前に発生した南海トラフ地震を想起させる地震。被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

■ 酷暑という言葉の上を行く今年の暑い夏。コメ不足のニュースの傍らで高騰する物価。10月から郵便代や3000品目の日用品が値上げされたとの報道が。

■ 様々な分野で様々な動きが表出し、時々刻々変化する中で、事前準備・自己防衛を第一にあらゆる状況に備えていかなければならないと肝に銘じています。

■ 県議の仕事は、地元での活動、県議会での活動に加えて、他県での調査・研究活動も欠かすことができず、地元不在の期間が増えています。ご理解をお願いします。



交流団長
新北州市及台湾多縣市與日本大分縣
推動國際交流及教育與經濟
新北州市及台灣多縣市與日本大分縣
未來交流與經濟合作
謝詞



全校生徒2000人ほどの中和高級中学（日本の高校に相当）では日本語を学ぶ学生も少なくない。様々な交流の可能性が広がる。



第76代大分県議会議長に就任した嶋幸一県議は別府市出身、59歳。別府市議を経て県議5期目。



国土交通省から招聘した桑田龍太郎副知事は島根県出身の54歳。大分市副市長の経験もあり、県議の政策勉強会の講義。

	歳入総額	歳出総額	繰越財源額	実質収支
一般会計	756,272,581,696	723,713,754,658	24,472,760,503	8,086,066,535
特別会計	258,056,348,627	252,001,745,091	589,177,000	5,465,426,536